

中谷・大塚好江 駐パラグアイ大使略歴

生年月日：1960年5月18日 広島市生まれ

学歴：

1983年 東京外国語大学外国語学部スペイン語学科卒

1986年 スペイン国外交官学校国際コース終了

職歴：

1983年に外務省入省。本省勤務においては、1988-92年、日米貿易摩擦交渉に従事。その後、中南米・太平洋島嶼国向けの有償資金協力企画立案やODA評価・OECD開発援助委員会（DAC）の対日審査への参加を通じて、開発協力についての知識・経験を積んだ。その他、G7/G8サミットのプレス対応も実績がある。2004-09年、中南米局にて「日・中米交流年」（2005年）事務局の責任者として、初の日・中米首脳会談を成功裡に実施したほか、対中南米政策および多くの大統領訪日を手がけた。

在外勤務では、スペインで研修を終えて、在パナマ大使館に赴任し、スペイン語・中南米事情の専門職員として政務、広報、大使の秘書的業務等を幅広く担当。その後、1996-98年には、米国の日本大使館広報文化センター次長として、対米政策広報・一般国民向け広報を担当。1996年12月に発生した在ペルー日本大使公邸占拠事件では、現地にてプレス対応を行い、解放された青木大使の記者会見にも関わった。

2009年7月、OECD（経済協力開発機構、国際機関）東京センター所長就任。OECDの統計、分析、政策提言を議員、政府関係者、メディア、研究者等に記者会見、政策フォーラム、懇談会等を通じて幅広く紹介し、政策議論に貢献することを使命として活動した。OECDの活動のみならず、グローバル人材育成に関する講演を大学で多数実施。2013年4月、「女性スピーカーズギルド」の設立当初メンバーに登録。

2013年7月より在メキシコ日本大使館参事官。中学生の次女を同伴して赴任。経済班長として、進出相次ぐ日本企業のビジネス環境整備に従事。2014年は、安倍総理の訪墨、秋篠宮同妃両殿下の御訪墨の日程全般を総括した。

2015年12月より在パラグアイ日本大使館参事官、2016年1月より同公使参事官。次席として館務全体を総括。日本企業進出支援及び日系社会を応援すること等を通じ二国関係の増進に努めた。2016年は眞子内親王殿下の御訪問及びロイサガ外相訪日等、日本人移住80周年記念行事の成功に貢献した。日系女性の応援に積極的に取り組み、2017年3月、パラグアイ日系女性の会（MNP）設立に関与し、顧問に就任。

2018年3月より、外務省欧州局協定交渉官として欧州各国との租税条約、社会保障協定等締結の交渉に従事。アジア欧州協力室長を兼務し、アジア欧州間の交流・協力業務に携わり、10月にジュネーブで開催された首脳会合では、安倍総理率いる日本政府代表団の一員として、最終成果文書に我が国の主張が盛り込まれることに貢献した。

2018年11月より、外務省経済局漁業室長として、捕鯨政策及び国際的漁業管理に関する業務を総覧。IWC脱退に関する外交政策に携わった。

2020年9月より、駐パラグアイ日本国特命全権大使。11月に着任。

家族：駐ジブチ大使（海上自衛隊海将（退官））の夫と二女（自営業、大学2年）

言語：スペイン語、英語

以上